

# 湯の郷苑小規模多機能型居宅介護事業所

## 第4回 運営推進会議 報告書

事業所名：湯の郷苑 小規模多機能型居宅介護事業所

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 (該当に)

日 時：令和 7年 10月 24日 (金) 14:00~15:00

場 所：湯の郷苑 だんらん

出席者：

利用者代表	0名	知見を有する者	1名
利用者家族	0名	大田市職員	1名
地域住民の代表	1名	その他	0名
事業所職員			1名

### (1) 利用者の状況

#### ① 登録者数

R7. 8月末	登録者数	19人	R7. 9月末	登録者数	18人
	男女比	4:15		男女比	3:15

#### ② 地域別登録者数 (R7.9月末)

温泉津町	14名
大代町	1名
静間町	1名
久利町	1名
大屋町	1名

#### ③ 要介護度別 (R7. 9月末時点)

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1名	1名	1名	4名	7名	2名	1名	1名

④ 生活状況 (R7. 9月末時点)

世帯	人数	内容
同居	1名	県外に住む3姉妹が1か月交代で帰省し介助
	6名	子供同居
	2名	配偶者と同居
独居	2名	近所に子や親せきがあり支援がある
	3名	家族は市外、県外在住
宿泊	4名	長期利用

⑤ 年齢別 (R7. 9月末時点)

65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
0名	1名	2名	13名	2名	88.2歳

⑥ 利用回数 (R7. 8月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	265回	15.6回	8.8回
宿泊	181回	10.6回	6.0回
訪問	26回	1.5回	0.9回
全サービス(一人当たり)		6.7(登録者延数 496)	

利用回数 (R7. 9月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	227回	14.2回	7.6回
宿泊	151回	9.4回	5.0回
訪問	29回	1.8回	0.9回
全サービス(一人当たり)		5.9(登録者延数 480)	

- ・長期宿泊者…3名(自宅での生活が難しく、特養等への待機者)  
1名(退院後の生活支援として2か月程度の予定)
- ・月1回の状況確認にて契約継続希望利用者あり
- ・長期入院者 1名
- ・週2回程度の通い希望者 4名 週1回程度の訪問希望者 2名  
(緊急時の泊りの希望と状況によっては訪問、通いへの利用変更希望者)

## 1. 議題

### ①活動状況報告

R7. 8 月（委員会）安全衛生委員会、感染症対策委員会  
身体拘束廃止委員会、事故防止委員会、虐待防止委員会  
令和 7 年度第 3 回運営推進会議  
（行 事）  
（研 修） 災害研修（1 回目）

R7. 9 月（委員会）安全衛生委員会、感染対策委員会  
身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会  
（行 事）敬老会  
（研 修）災害研修（2 回目）  
感染症研修（2 回目）  
職員健康診断

### ②感染症の取り組み

マニュアル作成後それに基づき感染対策を行っております。面会希望の時は健康状態を確認し、健康であれば居室にて換気をしながら、15 分間と決め厳守し行う。感染時には蔓延防止対策を取りながら、業務の継続を行う。

### ③通院支援（R7. 8 月、R7. 9 月分合計）8 月 2 回 9 月 2 回

受診送迎・受診同席	4 回
-----------	-----

### ④事故報告

R7. 8 月
① センサーがなっていたが、夜勤者が他の利用者介助中、ベッドサイドで立ち上がり転倒される。
→ 介助が重なった時には一度訪室し状況確認と説明、優先順位を考え対応する。
② 日中、自室で過ごされていたが、センサーが鳴ったため、訪室すると端座位にならざる。用事確認をしている際、ホールで過ごされていた利用者が動かれ、

声掛けしにホールに出た際に、居室におられた方が動かれ、タンス前でバランス
を崩されているところを職員が発見し、支えようとしたが間に合わず転倒される。
2名体制で見守り対応をしていたが、1名は他の利用者の対応をしていた。
→ 利用者対応時はその場から離れず、他職員へ連絡、ホール等の対応を依頼する。
① R7.9月
職員1名でホール対応時に、他利用者の排泄介助対応をしたことでホールに職員が
いない状況となり、その間に本人が立ち上がり転倒される。
→ 他の職員へ声をかけ、ホールを空にせず、必ず職員1名は見守り体制が取れる
ようにする。
② 面会者あり、居室にて面会時に本人が立ち上がり転倒となる。
→ 面会者に状態を伝え、気を付けてもらうようにする。また職員も面会時にはモ
ニター確認を行い、見守り体制をとる。
③ 眠前薬の服用対応を職員が忘れており服用できなかった。
→ 業務日誌の活用、確認を行い、飲み忘れチェックを行い確実に服用してもらう。

⑤ ヒヤリハット報告 0件

⑥ 苦情報告 1件

ケアマネジャーからの発言の仕方に家族が不信感を感じた。

ケアマネジャーに確認を取り、ケアマネジャーからも言い方が悪かったのかと返答あり。発言について気を付けてもらうように注意を促し、家族には謝罪を行う。

⑦ 今後の活動予定

R7.10月（委員会）安全衛生委員会、感染症対策委員会  
 身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会  
 令和7年度第4回運営推進会議

（行事） 外出（展示会へ）

（研修） 事故防止研修

R7. 11月（委員会） 安全衛生委員会、感染対策委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、事故防止委員会

（行事）文化祭

（研修）

## 2. 意見、要望等

### ・行政より

感染症について、コロナウィルスは減少気味であるが、インフルエンザが流行期に入ったとのこと。感染に注意してほしい。

### ・事業所より

利用者家族代表をしてもらっていた[REDACTED]について、8月末に本人様が死去されたため、今後、構成員での対応は難しく、新たな構成員を家族様へ依頼する必要がある。早々に新構成員を決める予定としている。

## 次回の予定

令和 7年度 第4回運営推進会議

令和 7年 12月 26日（金）14:00～